

アクティビティノート <第 352 号>

2026 年 5 月度の受付相談事例を中心に記載しています。

1. 相談業務

1-1 2026 年 5 月度相談受付件数 …… p.2

1-2 受付相談事例および内容の紹介 …… p.3～8

2. コラム「クチナシの化学 – 梅雨に香る花と裂けない実 –」

…… p.9～10

TOPICS



クチナシの化学 — 梅雨に香る花と裂けない実 —

梅雨に香るクチナシ。実は花・葉・実に驚きの化学が！香りの秘密、虫との関係、1つの実から生まれる2色の色素まで、身近な植物の意外な素顔に迫ります。

『お知らせ』

化学製品 PL 相談センターの 2025 年度の活動報告会を、東京と大阪で開催いたします。

東京：7月3日（金） 14：00～16：30

大阪：7月9日（木） 14：00～16：30

ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。

詳細は、下記リンクからご確認ください。

<https://chemical-pl.jp/topic/2025-activity-report-meeting/>

1. 相談業務

1. 1 相談受付件数

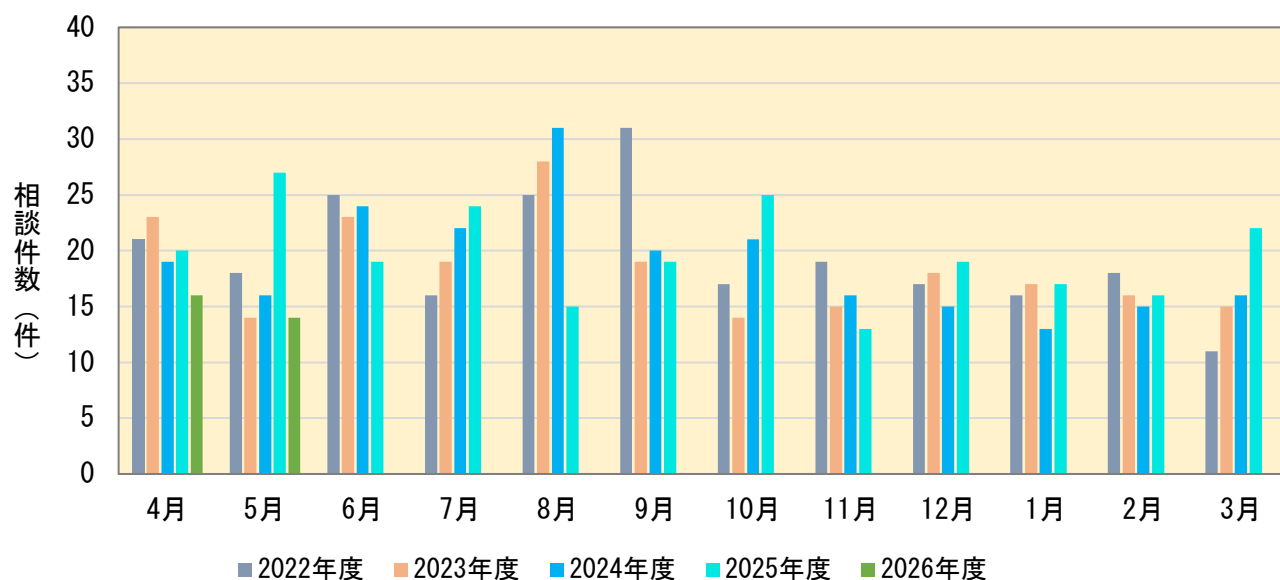
2026 年 5 月度相談受付件数 (5/1~5/31 実働:18 日)

	事故クレーム 関連相談	品質クレーム 関連相談	クレーム関連 意見・報告等	一般相談 等	意見・報告 等	合計	構成比*
消費者・ 消費者団体	0	1	0	7	0	8	57%
消費生活C・ 行政	0	1	0	1	0	2	14%
事業者・ 事業者団体	1	0	0	3	0	4	29%
メディア・ その他	0	0	0	0	0	0	-
合計	1	2	0	11	0	14	
構成比*	7%	14%	-	79%	-		100%

* 数値の端数処理の関係で合計が 100%とならないことがあります。

相談内容区分(改定 2008 年 8 月)

事故クレーム関連相談	製品の欠陥や誤使用などによって人的・物的な拡大被害が発生したもの
品質クレーム関連相談	拡大被害を伴わない、製品そのものの品質や性能に関する苦情
クレーム関連意見・報告等	事故の報告や品質の苦情に関する意見・要望など、当センターからコメントを出さないもの
一般相談等	一般的な相談・問合せ等
意見・報告等	一般的な意見・報告・情報の提供を受けたもの



相談受付数の推移 (2022~2026年度)

1. 2 受付相談事例および内容の紹介

※「臭い」と「ニオイ」の区別について

不快または好ましくない場合を「臭い」とし、柔軟剤・芳香剤・化粧品・香水等のように意図的に付加した場合を「ニオイ」と表記することにしていきます。「ニオイ」としたのは、意図的に付加した場合でも、不快とを感じる方がいるため、中立的なイメージとして表現しました。ただし、不快臭を付加した場合（ガス臭等）は「臭い」とすることにしていきます。

◆事故クレーム関連相談

- ◆ <胡蝶蘭の鉢のラッピングからクッションフロアに色移り> 先日、新規店舗をオープンし胡蝶蘭を頂いたが、その鉢をラッピングしていた不織布の色がクッションフロアについてしまい取れない。花屋に問い合わせたが、購入した花の送り主でないのに対応してくれない。住居用洗剤や食器用洗剤を使って落とそうと試みたが落とせなかった。清掃業者に確認したが、クッションフロアに色が染みこんでいるので、落とすのは難しいと言われた。花屋に確認したところ、不織布は輸入材料で油性の染料が使用されているとの説明であった。原状回復したいが試してみるべき方法はないか知りたい。〈事業者〉

⇒クッションフロアは、一般にガラス繊維などの基材の上に塩化ビニル樹脂（PVC）層を形成した構造となっており、表面には透明なトップ層が設けられています。製品設計の段階では色素などの移行を抑えるための工夫がされていますが、染料によっては長時間接触することでトップ層に移行し、色移りを生じることがあります。カレーに含まれるウコン色素なども、クッションフロアに色移りしやすい物質として知られています。このような変色は、表面の汚れではなく材質内部に浸透していることが多く、拭き取って元に戻すことが難しい場合が多いと考えられます。なお、製造物責任法においては、今回のケースでは、ラッピングをした花屋は「加工」をした製造者に該当する場合があります。一般的に予見される使用形態（床に置くこと）に対して、色移りを回避するための情報提供が不十分であったと判断されれば、「指示・警告上の欠陥」が問題となる可能性があります。賠償責任について検討される場合は、法律の専門家にご相談をされることをおすすめします。

◆品質クレーム関連相談

- ◆ <食品用ラップのニオイについて> 「半年から1年前位に購入した食品用ラップ〇〇から、海外製の柔軟剤のようなニオイがしている。おにぎりを包むとニオイ移りがしていて、家族も臭いと言っている。ラップは、柔軟剤とは別の場所に保管している。ラップにニオイが移ることはあるのか」という相談を消費者から受けている。メーカーに相談はまだしていない。〈消費生活C〉

⇒食品用ラップを保管の際、周囲の環境中にあるニオイ成分が食品用ラップに移る可能性はあります。ただしニオイ成分の濃度は環境や時間、場所などにより変化するため、原因を客観的に特定することは技術的に難しい場合があります。当センターでは個別製品の情報は持ち合わせていないため、まずは直接メーカーに相談をし、製品の状態について確認し

てもらってはいかがでしょうか。

- ◆ <歯間ブラシの折れについて> 3か月前、〇〇社の歯間ブラシが折れ、歯の間に挟まった。口内にケガはなかったが、長年愛用していて初めてのことでメーカーに連絡をした。商品を送って欲しいと言われ、送ったがその後何の回答もない状態である。その後再度、ブラシが折れた。折れた原因を知りたい。どのように対応をすればよいのか。化学製品PL相談センターは消費生活Cから紹介してもらった。〈消費者〉

⇒当センターは、知りうる範囲で科学的根拠に基づきお答えしておりますが、個々の製品のメーカーとのあっせんや仲裁は行なっておりません。現在、〇〇社に折れた製品を送付し確認中ということですので、その後の状況について、まずは〇〇社に確認されてはいかがでしょうか。

◆一般相談

- ◆ <スニーカーの靴底の剥離について> 「ネット通販で2か月前に購入したスニーカーを10日程着用したら、靴底が剥がれた。購入元に連絡をしたら、『10日着用での剥がれは製品の不具合の可能性はあるが、購入後5日以上経過しているので交換できない』といわれた」という相談を消費者から受けている。靴底の耐久性などについて知見はないか。〈消費生活C〉

⇒スニーカーの靴底については、JISやISOにおいて接着強度や耐久性等に関する試験方法が定められています。一般にスニーカーは樹脂製の靴底を本体と接着剤で貼り合わせており、長期使用や保管環境等の影響によって劣化や剥離が生じることがあります。しかし、購入後約2か月で、実際の着用が10日程度にもかかわらず靴底が剥がれたとのことなので、通常期待される耐久性を下回っている可能性があると考えられます。このような場合、当該製品が民法上の契約不適合責任（通常有すべき品質を欠いている状態）に該当する可能性もあります。そのため、まずは製造メーカーに対し、製品の状態確認や原因調査を求めた上で、初期不良の可能性も含め、交換・修理等の対応について再度申し入れるよう助言されてはいかがでしょうか。併せて、販売事業者に対しても、契約不適合責任に基づく対応を求めることが考えられます。

- ◆ <電気毛布の保管時の防虫剤使用について> 〇〇社製の電気毛布と電気ミニマットをしまう際に、△△社の防虫剤◇◇を入れて保管したいが問題はないか知りたい。〇〇社に問い合わせたら配線が傷む可能性があるため避けた方がよいとの回答で、△△社は使用しても問題ないとの回答だった。ネットで調べたら、ナフタリン、パラジクロベンゼンを入れるとよくないとあった。化学製品PL相談センターは以前相談したことがある。〈消費者〉

⇒当センターでは、個別製品に使用されている成分の詳細や、安全性に関する情報は持ち合わせておりません。一般に、パラジクロロベンゼンやナフタリンなどの防虫剤は、樹脂部分に影響を及ぼす可能性があると言われております。△△社が開示している情報によると、◇◇はピレスロイド系の防虫剤のようです。ピレスロイド系は、一般にパラジクロロベンゼン系などと比べて揮発性が低いとされていますが、電気製品への影響について当センターで判断することはできません。ご不安であれば、収納する際、電気毛布や電気ミニマットと

防虫剤を直接触れさせない、コード類とは別に保管するなどの対応をされてはいかがでしょうか。

- ◆ <顔の色素沈着と染毛料のヘナとの関係について> 数日前から顔と首に色素沈着が現れ、皮膚科に通院中。医師から、ヘナによる染毛が原因の可能性があるので中止するように言われた。頭皮に異常はないが、ヘナはいつも愛用しており、色素沈着の原因になるのか知りたい。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。〈消費者〉

⇒ヘナ(ヘンナ)は、ミソハギ科の双子葉植物で、葉に色素成分であるローソンを含んでいます。酸化染料を含むヘアカラー(染毛剤)ではありませんが、ヘナを含む染毛料にも、アレルギー等の皮膚障害の注意喚起とパッチテストの必要性が表示に記載されています。また、ウィッグなどに使用するヘナ製品(頭髪用ではなく、いわゆる「雑貨」に分類)には、ヘアカラーと同様の酸化染料が含まれている場合があります。国民生活センターから酸化染料を含むヘナ製品によるアナフィラキシーに関する注意喚起がなされています(https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20260520_2.html)。色素沈着の原因がヘナにあるかは当センターでは判断できませんが、医師の診断に従い、まずは治療に専念されてはいかがでしょうか。

- ◆ <ダニよけスプレーの廃棄について> 使わなくなったトリガータイプのダニよけスプレー〇〇を廃棄しようと思い、家の洗面所に100ml程度流した。不安になり、メーカーに問い合わせたら、アルコールが入っているので、水に流さず、ビニール袋に紙や新聞紙を入れ、しみ込ませて可燃物で出すように言われた。また、すでに内容物の一部を流してしまった場合は、多量の水で洗い流すよう言われた。心配だったので、6時間ほど水で洗い流し続けたが、内容物を流したことで、排水管や下水管を傷つけたり、火事や爆発の原因になったりしないか心配。化学製品PL相談センターは消費生活Cから紹介してもらった。〈消費者〉

⇒〇〇はエタノールを含む製品で、火気の近くでは使用しない等の注意表示がされています。エタノールは、引火性の高い物質であるので、高濃度でそのまま下水へ流してしまうと、下水道内で爆発を引き起こしてしまう恐れがあります。今回は、多量の水で希釈されており、対象物の損傷や引火など、過度に心配されることはないと考えられます。なお、紙等に吸収させて処分する方法でも、蒸発過程で可燃性蒸気が発生することになります。そのため、火気を避け、換気の良い場所で取り扱うことが重要です。

- ◆ <ホテルに備え付けのコンディショナーの安全性について> 3日前、ホテルで洗髪時に部屋に備え付けのコンディショナーを使用したが、液が水のような状態で髪がガサガサになった。ボトルを透かして見ると内容液が分離しているようだったため、中身を出して確認すると、もろもろした塊と液体に分離していた。フロントに連絡し状況を説明し、コンディショナーを交換してもらった。担当者からは「容器に液を継ぎ足しているため、経時変化や温度の影響で分離した可能性がある」と言われた。髪はその後再度洗髪した。翌日責任者に確認したが、対応した担当者はアルバイトであり、報告がないまま当該の液は廃棄したとのことであった。今後、肌や髪に異常が出た場合は対応すると言われたが心配である。なお、他の部屋のコンディショナーは分離していないと言われた。ボトルに異物が入れられていた可能性もあり、身体への影響がないか不安である。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。〈消

費者>

⇒当センターでは、コンディショナーが分離した原因について、本相談の情報から判断することはできません。一般にコンディショナーは、容器を十分に洗浄せず継ぎ足して使用している場合、雑菌の混入などにより分離することがあります。また、シャンプーとコンディショナーを誤って詰め替えた場合にも分離が生じる可能性があります。今回の製品は既に廃棄されているため原因の確認は困難ですが、使用後に再度洗髪しており、その後3日経過して特に異常がみられていないとのことから、現時点で身体への影響について過度に心配する必要はないものと考えられます。なお、不安が残る場合には、ホテルに診察費用の負担が可能な確認したうえで、皮膚科などの医師に相談されることも一つの方法と思われます。

- ◆ <遮光カーテンから出る粉の安全性について> 何年も前に購入した寝室の遮光カーテンの裏面から白い粉のようなものが出てきている。夫がその粉を吸い込んでいるためか、最近、咳が出てつらそうにしている。遮光カーテンの素材は不明だが、ネットで調べたらポリエステル素材が多いようだ。粉の安全性が気になっている。化学製品PL相談センターはネットで調べた。

<事業者>

⇒一般に遮光カーテンは、ポリエステルなどの素材に、アクリル樹脂やポリウレタンのコーティングをして遮光・断熱効果を高めています。使用環境によって差はありますが、紫外線や日射による昇温、湿気などにより、劣化・脆化して粉状や細かな繊維片として落ちることがあります。これらの樹脂は日用品にも広く使用されている素材ですが、粉塵として吸入すると、のどや鼻への刺激や違和感、咳が出るといった症状が出る可能性もあります。体調に不安がある場合は、医療機関に相談することをおすすめします。また、遮光カーテンの経年劣化が進んでいる可能性もあるので、新しいものに交換することも検討してはいかがでしょうか。

- ◆ <車のスマートキーを誤って洗濯してしまった> 2日前ポケットに車のスマートキーをいれたまま洗濯し、衣類を干す際に床に落ちて気づいた。キーから有害な化学物質が出て、他の衣類や洗濯槽についていないか不安。キーはそのまま段ボールの中に入れて放置している。化学製品PL相談センターは、以前相談したことがある。<消費者>

⇒一般に車のスマートキーは、電子部品と電池が樹脂製のケースの中に収められています。多くの場合、雨や汗などを想定した生活防水程度の構造にはなっていますが、洗濯により、内部に水や洗剤成分が中に入り込んでいる可能性は高いと考えられます。ただし、洗濯時に内部の成分が溶けだし、他の衣類などに付着することは考えにくいです。一方で、内部の腐食などでキーが正常に機能しなくなる可能性もあります。車のメーカーや販売店に現状を伝え、対処方法を確認してください。

- ◆ <防水スプレーの有効期間について> 4,5年前にネットで購入した防水スプレーの有効期限を確認したかったが、〇〇という会社名のみで、住所も電話番号も記載されていない。問題ではないのか。衣類がシミになりそうで心配。化学製品PL相談センターは、ネットで調べた。<消費者>

⇒一般に、噴射剤に液化ガスを使用しているエアゾール製品は、高圧ガス保安法に基づく表示として、「製造した者の名称または記号」を表示することが求められていますが、製造者または販売者の住所や電話番号を表示する義務までは定められていません。また、防水スプレーは一般に雑貨として取り扱われる製品であり、有効期限（使用期限）の表示義務はありません。また、業界の自主基準（一般社団法人 日本エアゾール協会 家庭用エアゾール防水スプレー製品等の 安全性向上のための自主基準 別紙4 <https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/001577551.pdf>）において、販売業者名（又は製造業者名）及び住所、電話番号を表示することは記載されていますが、有効期間（使用期限）について明記はありません。品質保持期間については、内容物の性質や容器構造、保管状況などにより異なりますが、長期間保管した場合には、噴射状態や防水性能が低下する可能性があります。まずは、容器表示のほか、購入時のネット通販の販売ページや注文履歴などに、事業者の所在地等の情報が記載されていないか改めて確認してください。なお、購入から4、5年経過していることから、使用する場合には、屋外など十分に換気された場所で少量試すなど、表示されている使用上の注意を確認したうえで取り扱うことが望ましいと考えられます。

- ◆ <トナーの黄色い粉の安全性について> 5年程前に、派遣社員として8か月働いた会社で、黄色いトナーの粉を吸い込んでしまった可能性がある。マスクは指示されて使用していたが、息苦しく、少し隙間を開けていた。最近、健康診断のレントゲンで、以前は見られなかった影があるのは、その影響ではないかと考えている。所属している派遣元の会社にも伝えたが、取り合ってもらえない。粉の安全性を知りたい。化学製品PL相談センターはネットで調べた。〈事業者〉

⇒当センターは医学的な判断は行えないため、レントゲンで見られた影と過去のトナー粉末吸入との因果関係を判断することはできません。まずは、健康診断を受けた医師に対し、トナー粉末を扱っていた経緯や当時の作業状況（マスクの使用状況など）を説明し、医学的な見解を確認されることをお勧めします。一般に、トナーは合成樹脂を主成分とする微細な粉末で、顔料等が含まれています。安全性や取扱い上の注意は、製品ごとのSDS（安全データシート）に記載されていますので、使用していた製品名が分かる場合は、SDSを確認し、医師へ情報提供することも有用です。また、派遣労働者の場合でも作業場所における安全確保は重要であり、作業環境や使用物質については通常、事業者により管理されています。派遣元・派遣先に対して製品情報の確認を求めることも考えられます。労働環境に関する相談は、労働基準監督署への相談も一つの方法です。

- ◆ <レンズの清拭に用いる溶剤について> 撮影プロダクションとして料理などの撮影を行っており、撮影時に油分がレンズに付着することがあるため、エタノールで清拭している。しかし、エタノールは揮発がやや遅く、拭き跡が残ることがある。そこで、揮発を早める目的でジエチルエーテルをエタノールに加えて使用するとよいと聞き、インターネットで購入を試みたが購入できなかった。この物質には購入に関する規制があるのか。また、同様の用途で代替となる薬品があれば教えてほしい。〈事業者〉

⇒ジエチルエーテルは引火性が非常に高く、日本では消防法において第四類危険物（特殊引火物）に分類されています。蒸気も引火しやすく取扱いには十分な注意が必要な物質で

す。なお、ジエチルエーテルは、一定濃度を超えるものについて「麻薬及び向精神薬取締法」における麻薬向精神薬原料に指定されていますが、一般消費者への販売が一律に禁止されている物質ではありません。しかし、危険性が高いことから、試薬販売会社では販売先を法人や研究機関等に限定している場合があります、そのためインターネット等では購入できない場合があります。なお、カメラレンズにはコーティングが施されていることが多く、またレンズ周辺には樹脂部品が使用されている場合もあるため、溶剤の種類によっては表面処理や部材に影響を与える可能性があります。このため、レンズの清拭にあたっては、溶剤を独自に調合して使用するよりも、光学機器メーカーが推奨する方法や、レンズクリーニング専用として販売されているクリーナーの使用を検討することも有効と考えられます。

- ◆ <合成ゴム製の部品の劣化について> タンクに水道水を溜めヒーターで加温する装置で実験を行っている。高温で加熱殺菌をした後、80℃で水を循環し続けたところ、EPDM製のOリングが劣化した。チェッカーで計測したら、塩素濃度は0だった。劣化の原因が何か探している。何か知見はないか。化学製品PL相談センターはネットで調べた。〈事業者〉

⇒EPDM (エチレン・プロピレン・ジエンゴム) は、一般的に耐候性、耐熱性、耐薬品性に優れるゴムですが、使用条件によっては劣化することがあります。当センターは個別の材質の詳細や使用条件に基づく耐久性などに関する知見は持ち合わせておりません。メーカーに直接お問い合わせください。

◆クレーム関連意見・報告等

なし



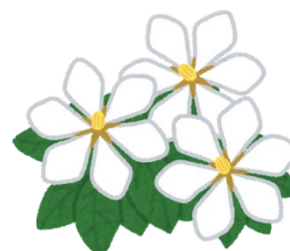
コラム

クチナシの化学

— 梅雨に香る花と裂けない実 —

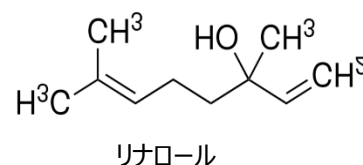
梅雨の時期、湿った空気の中にふと甘い香りが漂うことがあります。その香りの正体はクチナシの花です。白く厚みのある花卉をもつこの植物は、庭木としてもよく見られますが、強い存在感を放つのはむしろ視覚よりも香りのほうでしょう。雨を含んだ空気の中で、ふとした瞬間に香りが広がることで、その存在に気づく人も多いのではないのでしょうか。

クチナシはアカネ科に属する常緑低木で、学名を *Gardenia jasminoides* といいます。東アジアを中心に分布し、中国では古くから薬用植物として知られてきました。日本でも庭木として親しまれるほか、実が染料として利用されるなど、人々の生活と深く関わってきた植物です。



● 梅雨に際立つ甘い香り

クチナシの花の香りは、多くの揮発性化合物によって構成されています。代表的な成分として知られているのが、リナロール、ベンジルアセテート、ベンジルアルコールなどです。これらは多くの花の香りに共通する成分です。特に学名の *jasminoides* (ジャスミン様) という名前の



通り、ジャスミンの香りとも共通点があります。一方で、ジャスミンにはインドールなどの成分が香りの奥行き(エキゾチックさ)を生み出すのに対し、クチナシではそれらが比較的少ないとされ、より清潔感のある甘さが前面に出る香りとして感じられます。これらの香りは、花に含まれる精油成分が揮発することによって周囲に広がります。温度や湿度によって揮発の程度は変わり、湿った空気の中では香りがやわらかく拡散するため、梅雨の時期にとくに印象的に感じられるのかもしれません。

一方で、クチナシの花の香りは魅力的でありながら、香り成分を十分に取り出すことが難しいため、ジャスミンほど香料原料として広く抽出・利用されてきたわけではありません。そのぶん、生花ならではの贅沢な香りとも言えます。

■ 防御が「目印」になる不思議



クチナシの葉にはイリドイド配糖体と呼ばれる化合物群が含まれています。これらは苦みや毒性を示すことがあり、植物にとっては昆虫から身を守る防御物質として働くと考えられています。一見すると、あまり食べられそうにない葉ですが、梅雨の時期になると、緑色のイモムシに食べられている様子をよく見かけます。スズメガ科の幼虫などは、こうした成分に適応しているとされ、むしろその成分を手がかりにして宿主植物を見分けていると考えられています。本来は「食べられないようにする」ための化学物質が、特定の昆虫にとっては「ここは食べてもよい場所」という目印になっているわけです。

防御しているつもりが、目印になってしまう。もし幼虫の側から見れば、私たちが「防御」と呼んでいるものは、ただの“案内表示”のようなものなのかもしれません。「防ぐはずのしくみが、必ずしも防ぐとは限らない」という点において、植物と昆虫の関係は、「食べる・食べられる」という単純な関係だけでは捉えにくいようにも思われます。

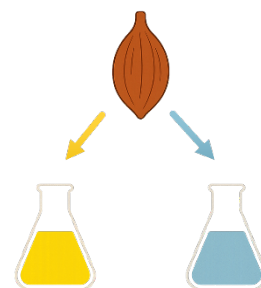
● 薬にも着色料にもなる実

花が終わると、クチナシは秋に橙黄色の実をつけます。この実の特徴は、成熟しても裂けない(=果実が熟しても口が開かない)ことです。この性質が「口無し」という名前の由来の一つともいわれています。この実は、漢方薬の山梔子(サンシシ)として用いられる他、黄色や青色の着色料としても利用されています。

実に含まれるクロシンは、カロテノイド系の色素でありながら、水に溶けやすいという特徴を持ちます。サフランの黄色も、同じクロシンという色素に由来しますが、その組成は植物によってわずかに異なります。多くのカロテノイドは脂溶性ですが、クロシンは糖が結合した構造を持つため水に溶けやすく、古くから食品の着色に利用されてきました。日本では、栗きんとんや和菓子などの黄色い色づけにクチナシの実が使われてきました。鮮やかな黄色を与えるだけでなく、比較的熱に対して安定であるため、加熱調理を伴う食品にも利用しやすいという特徴があります。

さらにクチナシの実には、ゲニポシドというイリドイド配糖体も含まれています。ゲニポシドは加水分解によりゲニピンを生じ、ゲニピンはアミノ基を有する化合物と反応・重合することで、青色の色素を生み出します。

つまりクチナシの実の中には、黄色の色素と青色を生み出す反応という、異なる色の化学的仕組みが存在しているのです。



このようにクチナシという植物を見ていくと、花では揮発して空気中に広がる香り、葉では昆虫との関係を左右する防御物質、そして実では色や薬として利用される成分と、同じ植物の中でもさまざまな形で化学の働きが現れています。空気中に広がるもの、体内に蓄えられるもの、反応によって新たな性質を示すものと、その働き方も一様ではありません。

梅雨の季節、湿った空気の中でふと感じる甘い香りも、こうした化学の働きのひとつの表れです。庭木として身近に見られるクチナシですが、少し意識して眺めてみると、どこに目が向くかで、同じ植物でも少し違って見えてきます。香りにふと気づいたとき、少しだけ視線を広げてみると、これまで見ていた景色が少し違って見えるかもしれません。

参考にした情報

- ・日本農芸化学会「化学と生物」：防御物質イリドイドをめぐる昆虫の多様な適応戦略
https://katosei.jsbba.or.jp/view_html.php?aid=1005
- ・神戸薬科大学 薬用植物園レター 2020.11.15 発行
<https://www.kobepharma-u.ac.jp/botanical-gardens/news/docs/2020-11gatu.pdf>

化学製品PL相談センター ニュースメールメンバー 登録受付中



『アクティビティノート』の発行や、催し物など当センターの最新情報を随時お知らせするeメールサービスです。

- ・お申し込みはE-mail (pl@jcia-net.or.jp) で。
(件名に「ニュースメールメンバー登録」とご記入ください。)
- ①ご氏名(フリガナ) ②お勤め先(フリガナ) ③ご所属・お役職・ご担当など
- ④ご連絡先(勤務先か自宅かを明記)のTEL・E-mailアドレス
- ※個人情報、当センターのプライバシーポリシーに則り適正に管理いたします。

出前講師のご案内



化学製品PL相談センターに寄せられた相談事例を基に、化学製品による事故を防ぐための生活上の注意点等についてお話させていただきます。

各地の消費生活講座や、地域のサークルの勉強会などに、ぜひご活用ください。

日時・費用・その他の詳細につきましては、お気軽にご相談ください。

(TEL 03-3297-2602 担当：伊東(イトウ))



化学製品PL相談センター

<https://chemical-pl.jp>

ウェブサイトが新しくなりました



アクティビティノートに関するご意見・ご感想をお待ちしております。

化学製品PL相談センター

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1 住友不動産六甲ビル7階

TEL : 03-3297-2602 FAX : 03-3297-2604

URL : <https://chemical-pl.jp/>

本レポートに掲載した内容の無断転載を固く禁じます。